# 加藤 健 准教授

東京都立大学大学院 社会科学研究科 経済政策専攻(博士課程)

#### 〉専門分野〈



人文·社会/ 経済学説、経済思想

Q 担当科目を教えてください



#### 経済学史

「経済学の歴史」を振り返り、経済学者が実際に取り組んだテーマやその歴 史的背景を考察していきます。人間の経済活動はどうあるべきか。そもそも 社会はどのようなものなのか。経済学の多様なテーマを自分なりに整理し、 そして理解していくための「経済学の見取り図」を描くことを目標とします。

#### 社会思想史

現代社会は、格差や貧困、差別、民主主義の変容といった大きな課題に 直面しています。こうした課題の背景にどのような思想があるのか。古代 から近現代社会の形成において重要な役割を担った思想を取り上げ、今 後の社会の在り方を考える視点を養っていきます。

#### 演習 (ゼミナール):経済活動に及ぼす 「制度」の影響を 考える

人々が集まって経済活動を行えば、誰しもが自己の利益を優先するために うまくいかないように見えますが、その中で何らかの秩序が生まれてきま す。これが「市場」です。本演習では、この「市場」という枠組みをめぐっ て、人々がどのような制度的要因に影響を受けながら経済活動を行って いるのかを考えていきます。

Q 研究のテーマは何ですか?



#### 「生活水準」の社会的側面および歴史的・分析的な解釈

T.S.マクマホン (1878-1961) は, T.B.ヴェブレン (1857-1929) の議論をベースに, 経済学に社会学的要素を取り入れ, 生産領域よりも「社会的・経済的な消費」という視点を重視しました。人間の消費活動は, 単なる経済的欲望の充足ではなく, 所属コミュニティーの行為基準にも大きな影響を受けています。目下, このような「社会的」欲望の充足の意味について分析を進めています。



#### **管理される心** 一感情が商品になるとき

著 者 A.R.ホックシールド

(石川准・室伏亜希訳)

出版社 2000年

出 版 世界思想社

ISBN 978-4790708032

対人サービス労働に従事する労働者は、感情が商品となりました。偽りの感情を装うことを求められるため、肉体よりも心を酷使される労働者。原著は1983年に発表されていますが、現代社会においても示唆に富む一冊です。





# Q 研究者ってどんな仕事ですか?



「意味のある問いを考えろ!」。恩師がたびたび口にしていた言葉です。学術的に意味のある問いをどうにか立て、それに真摯に答えようとするが、少し進むとまた違う景色が見えてきて分からなくなる…。この繰り返しが楽しいです。

# Q 先生ってどんな人?



# ○ 休みの日は何をしていますか?

家でゆっくりするよりも、とにかく家族と出かけています。近くの公園の遊具で遊んだり、少し遠くまで行って海を眺めたり。自分一人だったら行かないようなところに行ってます。



### ∠ どのような大学生活でしたか?

インカレサークルでは大学も学部も学年も違う多様な人々と歌ったり演奏したり,勉強系サークルでは部室にこもって仲間と難しい書物を読んだフリしたり。掛け替えのない楽しい時間でした。

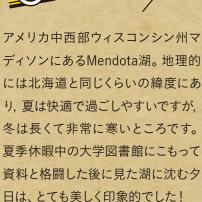




大阪産業大学キャンパスや 大学周辺でのおすすめスポットは?

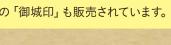
来ぶらり四条。図書館以外にも歴史とスポーツ ふれあいセンターや歴史民俗資料館がありま す。飯盛城の「御城印」も販売されています。





One photo selected by the teacher

先生の1枚





# 子生のみなさんへ

大学生活には多くの「出会い」があります。これまでの価値観を根拠に「楽しい」「つまらない」と早急に判断するのではなく、「この瞬間」を大切にしてみてください。19世紀ドイツの哲学者へーゲルによれば「ミネルヴァの梟」は夕暮れを待ってから飛び立つそうです。大きな目を持つ梟が、日中の出来事をす

べて見届けて飛び立つように、この世の出来事もすべて終わってみなければ、その「真の意味」は分からない、ということでしょうか。大学生活の「真の意味」も、長い人生の中で徐々に明確になっていくはずです。自分の可能性を大きく広げるためにも、まずは色々なことに積極的にチャレンジしてみてください!